

No.106
県議会
とちぎ

〒320-8501 宇都宮市塙田1-1-20
TEL 028-623-3772
FAX 028-623-3755
E-mail gikai@pref.tochigi.lg.jp
HPアドレス <http://www.pref.tochigi.lg.jp/no1/kenrikai/>

可決された主な議案

- 平成24年度栃木県一般会計補正予算(第5号)
 - 婦人保護施設の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定について
 - 烏獣保護区等に設置する標識の寸法を定める条例の制定について
 - 病院及び診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例の制定について
 - 県道の構造の技術的基準を定める条例の制定について
 - 高齢者・障害者等の移動等の円滑化のために必要な信息機器等に関する基準を定める条例の制定について

探査及び趣旨探査された請願：陳情

- ## 塙谷地区における県立高校普通科の募集定員の確保等に関する請願 B型肝炎・C型肝炎患者の救済に関する意見書採択の陳情 司法修習生に対する給費制の復活に関する陳情

可決された意見書

- ## ●森林・林業再生プランに基づく具体的政策の推進を求める意見書 ●B型・C型肝炎患者の救済に関する意見書

第315回 通常会議 代表・一般質問者及び質問項目



50年のあいさつを育む三秦文壇新議長

質疑・質問及び知事など執行部の答弁の様子をご覧になれます。

- 県議会ホームページ(インターネット録画)
ホームページアドレス
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>
 - 県議会へようこそ(とちぎテレビ)
2月17日(日) 午後0時~0時30分

- 一 行財政改革
- 二 地方分権改革
- 三 口(+) 出資法人改革
- 四 口(+) 地域医療の再生
- 五 県南・板木地区の医療再生
- 六 口(+) 下野市の医療体制の整備
- 七 工エルギー施策の展開
- 八 障害者優先調達の実現
- 九 農業生産現場における環境保全
- 十 教育長の教育方針
- 十一 下野市の道路整備

- 

若林 和雄
(とちぎ自民党)

相馬 政二
(みんな)

 - 一 児童虐待等要保護児童に対する支援
 - 二 県内観光地への観光客誘致対策
 - 三 有害鳥獣捕獲対策
 - 四 桜木発再生可能エネルギー・ビジネスモデル創造特区
 - 五 桜木県庁の危機管理体制
 - 六 税外収入の確保対策

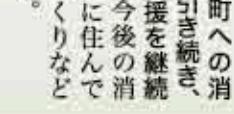
常任委員会及び特別委員会の活動 調査研究報告

平成24年常任委員会特定テーマ及び特別委員会重点テーマについて、調査研究結果を取りまとめ、第315回通常会議開会日に各委員長が議場で報告しました。報告書には、執行部に対する提言が盛り込まれています。その提言の一部は次のとおりです。なお、報告書全文は県議会ホームページでご覧になれます。

②長寿社会における健康づくり
「県民全体の健康づくりには、全県的な取組を進めることが望まれるところであり、その柱として、健康づくり推進条例（仮称）の制定が必要である。」など、県民運動の積極的な展開など五つの視点から提言しています。



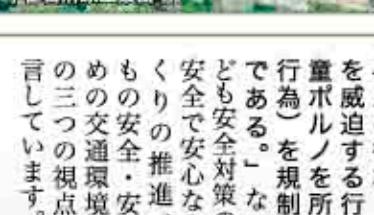
①今後の消費者行政の推進
「平成二十七年度までの全市町への消費生活センター設置に向けて、引き続き、未設置の町にセンター設置の支援を継続していくべきである。」など、今後の消費者行政の推進に関する相談を受けられる体制づくりなどを五つの視点から提言しています。



「早期着工に向けて、取得済みの事業用地の中で事業計画の変更を視野に入れ、整備促進に向けた四つの視点から提言しています。



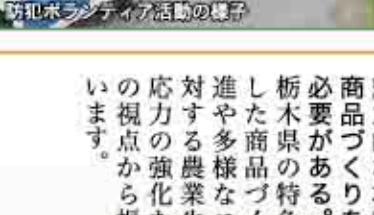
①企業立地戦略
「本県の優遇制度が立地企業にとって真に魅力ある制度となるよう、補助・融資制度全般を見直し、時代の変化に対応するものとすべきである。」など、東京に近いエリアでの用地確保、一社一社が力を持つオンライン企業や大手企業から選ばれる中小企業など、将来性のある企業について誘致の可能性を探求すべきである。」など、企業立地検討と併せて提言しています。



②子どもの安全・安心の確保
「「柄木県子どもを犯罪の被害から守る条例（仮称）」を制定し、現行の法律で規制されていない行為（子どもに不安を与える行為、子どもを威迫する行為、児童ボルノを所持する行為）を規制すべきである。」など、子どもたちの安全・安心のための交通環境の確保の三つの視点から提言しています。



①教員の資質と指導力の向上
「特別支援教育に関する専門性の向上を図るために研修の充実や、市町教育委員会との連携による支援体制の充実に努める必要がある。また、いじめをはじめとする問題行動等に対する指導力の向上を図る必要がある。」など、研修の充実、教員採用方法の改善などを四つの視点から提言しています。



②フードバーとちぎの推進
「「ピット商品を生み出していくために日本貿易振興機構等との連携を図るなどして、伝統工芸品の有する高い技術力や品質を活かした海外への展開方策について検討していく必要がある。」など、新商品開発、販路拡大、後継者の育成、魅力的な本物志向の視点から提言しています。



①中小地場産業・観光業の活力向上
「地域の文化や歴史に根ざしたストーリー性やブランド価値を持ち、消費者に商品づくりを進める必要がある。」など、柄木県の多様なニーズに応じた商品づくりの推進や、多様なニーズに対する農業生産の対応力の強化など六つの視点から提言しています。

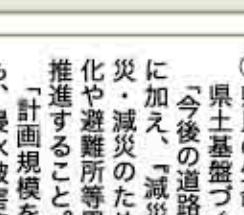
②農業の六次産業化の推進
「加工や販売に関する専門的な知識や技術の習得が必要なことから、企画から事業化に至るまでの発展段階に応じて、知識等を習得する機会を提供していくことが必要である。」など、人材育成や起業支援、販路開拓支援など六項目を提言しています。



①総合スポーツゾーンの全体構想
「サッカー場は、施設の稼働率や施設整備費・維持管理費を含めたトータルコスト等を考慮し、陸上競技場との「兼用」とすることが望ましい。」など、総合スポーツゾーンの基本的な考え方、施設整備の方向性など五つの視点から提言しています。



②馬頭最終処分場の整備
「早期着工に向けて、取得済みの事業用地の中で事業計画の変更を視野に入れ、整備促進に向けた四つの視点から提言しています。



①県民の生命・財産の安全と安心を守る県土基盤づくり
「今後の道路整備にあたっては、「防災導入を図るべきである。」など、施策の戦略的推進や県が担うべき役割、各再生可能エネルギーごとに留意すべき事項について提言しています。

②震災（特に放射線被害）からの復興に向けた取組の促進
「計画規模を上回る大雨などに対しても、浸水被害等を最小限に抑える減災・防災対策を検討し、効果的に実施していくこと。特に過去の浸水被害箇所や甚大な被害が予想される箇所については、優先的に対策を検討すること。」など災害に強い地域づくりに向けた提言をしています。

①災害に強い地域づくりの推進
「災害時に重要な役割を果たす防災拠点となる公共施設（県・市町の庁舎、学校、幼稚園、保育所、体育館、病院、社会福祉施設、道の駅など）に対する太陽光発電設備や蓄電池など再生可能エネルギーの導入を進めること。」など災害に強い地域づくりに向けた提言をしています。



第317回 通常会議の開催予定

第317回通常会議は、2月19日㈭から開催する予定です。また、本会議（質疑・質問）及び予算特別委員会（総括質疑）については、とちぎテレビ、栃木放送（ラジオ）、インターネットで生中継されます。

なお、本会議（質疑・質問）や予算特別委員会（総括質疑）等の日程については県議会ホームページでご確認いただけます。県議会事務局議事課（TEL028-623-3761）までお問い合わせください。

県議会ホームページアドレス
<http://www.pref.tochigi.lg.jp/p01/kengikai>

議会コンサートのお知らせ
二月十九日火（次回通常会議開会日）午前十時から、議事堂一階ホールで栃木県父慈善団とフルート奏者・栗田智水さんによる演奏会が行われますので、ぜひご来場ください。
詳しく述べる場合は県議会事務局総務課（電話〇二八一六二三一三七五四）までお問い合わせください。

◆会派構成の変更
とちぎ自民党議員会……二十九人
みんなのクラブ……十一人
民主党・無所属クラブ……四人
公明党栃木県議会議員会……三人
県民第一の会……二人
元気クラブ……一人



◆新議長・副議長の選出
平成二十四年定例会閉会日、高橋文吉議長と五月女裕久彦副議長の辞任に伴う正副議長選挙が行われ、第三森文徳議員（とちぎ自民党、四期）が選出されました。